



# 赤小だより

6月号  
令和3年6月1日  
北区立赤羽小学校

## 体験から学ぶ

副校長 外山 綾子

5月の土曜授業日に、全校一斉の防災授業を行いました。例年、合同防災授業として、地域の方、赤羽消防署の方、保護者の皆様にご協力を頂き、学年に応じた体験活動を交えて防災について学ぶのですが、今年度は感染症予防により、体験活動は行わない形となりました。全学年で『もし災害（大地震）がおきたら…』とのDVDを鑑賞し、その後、東日本大震災を体験した小学生の作文を聞きました。阪神淡路大震災を直に体験した教員は、その時の経験を話してくれました。実体験に基づく話はより重みを増し、どの学年の子供たちも、自分事として考えている姿に真剣さを感じました。「自分事として考える」は大事な学びです。

来年度は体験学習を通し、より自分事としての防災を深めてもらいたい、と思う日となりました。また、5月には2年生が「空豆の皮むき」をしました。初めての皮むきに「かた〜い」や「いいにおい」と様々な声が聞こえました。中には皮の内側を触り「こんなにふわふわなの?!」と驚く声も。その日の給食の空豆は、ほぼ完食でした。



給食後、ある子が「僕がむいた空豆、食べた？」と声をかけてくれました。「食べましたよ。おいしかったね。」と返すと「おいしかったね。いつもよりおいしかった。」とニコニコとしていました。関わった物への愛着を感じました。五感を生かした学習には、たくさんの発見があります。どちらの学習も「自分」が主体的に係わる学習であり、そこには大きな学びがあることを改めて感じさせてくれました。

学習は、自ら学び、経験することで、確かな力として身に付きます。「学問なき経験は経験なき学問に勝る」というイギリスの諺があるそうです。学問とは、知識を得ていくことだが、文字からの情報では断片的となる。しかし、実体験に伴う情報は、より大量で、身体全体で吸収して身に付けていくものだ。という意味だそうです。子供たちには、より多くことを体験し、身体全体で身に付ける学習をしてもらいたいと思います。活動に制限がある中ですが、その中でもできることを考え、より多くの体験をして自らの力となる学習を全力でサポートしていきたいと思います。

さて、防災の話の続きともなりますが、6月25日（火）には、保護者の皆様と共に防災活動を行う意味を込めて、引き渡し・引き取り訓練を行います。どうぞよろしく願いいたします。

## 6月の予定

1	火	A5	読書月間(始) 安全指導日 体力テスト期間(始) 腎臓検診 (対象児童 予備日)	17	木	A6	マーチング(6時間目) 社会科見学(6年)
2	水	S5	虫歯予防集会 岩井保護者説明会(5年)	18	金	A6	
3	木	A6	マーチング(6時間目)	19	土	D3	土曜授業日(公開なし)
4	金	A4	なかよし活動(3時間目)	21	月	A5	
7	月	A5	教育実習(栄養教諭)~6/11	22	火	A4	
8	火	A6		23	水	S5	
9	水	A4	下水道キャラバン(4年) やご救出大作戦(3年)	24	木	A6	マーチング(6時間目)
10	木	A6	やご救出大作戦予備日(3年) マーチング(6時間目)	25	金	A5	引き渡し・引き取り訓練
11	金	A6	体力テスト期間(終)	28	月	A5	委員会(6時間目) ショート訓練週間始
14	月	A5	クラブ(6時間目)	29	火	A6	
15	火	A6	避難訓練	30	水	A4	読書月間(終) セタ集会
16	水	A4	プール開き集会				

☆カウンセラー来校日☆

中川SC ⇒ 3, 10, 17, 24日

篠村SC ⇒ 11, 18, 25日

# 赤小146パレード大成功！



馬鹿祭りの中止を「残念」で終わらせず、「だったら、イベントを創ろう！」と前向きに進んだ子供たち、支えてくださった先生方、見守ってくださった保護者や地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。イベント名、練習計画、旗作り、本番の企画・運営など、子供たちが主体となって進めました。試行錯誤しながら創ってきた過程を知っているからこそ、本番中私は涙が止まりませんでした。本番が終わり、教室に帰ってくる子供たちの表情から「達成感」が見えました。離任された先生方からも、ありがたいお言葉をいただきました。

「下学年のお手本になろう！」の合言葉で始まった最高学年の学校生活。少しずつ、確実に最高学年としての自覚が高まってきました。このイベントで得たことを生かして、さらに様々な場面で活躍することを期待しています。

【6年担任 大野 大輔】

馬鹿祭りが中止だと聞いたとき、僕たちはショックを受けました。そんなとき、市川先生から「馬鹿祭りができなくなったけど、代わりに新しいイベントを創らない？」という提案がありました。そして指揮や部長が中心となり、イベント創りを始めました。

各パートの部長や指揮で集まり「どうしたら6年生全員のやる気が高まるか」という議題で話し合いをしました。そこで、一人一役を割り振ることで、やる気を引き出すという意見が出たので、それを実行しました。

6年生が考えたイベント名で全校児童にアンケートを取ってイベント名を決めました。また、旗やポスターを作ったり、練習の計画を立てたりしました。全体練習では、最初は演奏演技がずれていたのですが、練習を重ねていくうちにそろってきました。苦手だった曲ができるようになる人が増えてくると、各パートの部長や指揮もチームとしての成長を感じました。

リハーサルでようやくもらえた100点。チーム全員で喜ぶことができました。本番では、たくさんの方に感謝の気持ちを伝えることができた気がします。この赤小146パレードで改めて、チームの大切さを感じることができました。

【6年 各パートの部長・指揮】

## 健康診断を終えて

令和3年度の健康診断も学校医の先生方、保護者の皆様にご協力をいただき、終了いたしました。本年度も会場を体育館にして密を避けたり、検査器具を消毒したりする等して、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めた健康診断となりました。

健康診断は、①学習や運動などの日常生活を送る上で注意すべきことがないかをスクリーニング（ふるいわけ）する、②子どもが自分自身の体のことをよく知り、自分の体に興味をもつ機会にする、などを目的としています。自分自身を知るチャンスとして、ご家庭でも健康のこと、体のことについて話題にしていただけましたら幸いです。

【養護教諭 堀 千春】